

富士晴れて

北に聳峰筑波を仰ぎ、遙か南には富士の雄姿を望み得る誠に自然の環境に恵まれたこの高台に、この度本村中学校の独立校地が決定を見たことは、教育の振興上は勿論、村発展の基盤を築くものと慶賀に堪えません。あの将来の希望に胸をはずませ、目を輝かしながら登校する純真無垢な少年の夢をばぐくみ育てる教育の殿堂として、この地は実に理想的な位置といえます。この広大な学び舎に勉学にいそしむ子弟等の朝な夕なあの悠容迫らざる大自然の威容に接する時、果して何を思い、何を考えるであらうか。自然は人を支配する。とか、必ずや彼等は無言の教訓と激励とを與えられ、おおらかにしてたくましい人間の素地が培われ、ていくことを信じて疑いません。

やがて新春を迎えて高らかになりびびざわたるであらう建設の鐘音は、文化村栄村の前途を祝福するにも似て誠にほばしい限りであります。

— 根本 養三 —

「さかえ」十二月号 目次

表紙	富士晴れて	栄小 教頭 鷹泉 清
題字	富士晴れて	栄村青年会長 沼野保之助
扉	富士晴れて	栄小 校長 根本 養三
トマト早出しの実験を語る	部落座談会を終つて	一五
婦人会十一月便り	青年学級開講さる	一五
小学校便り	白菊会生る	一六
中学校便り	村民の声	一七
寄贈図書	土地改良便り	一八
厚生だより	弘報社会科	一八
新入館図書のお知らせ	貯金歴史を語る	一九
パン食心得	お芽出度う七五三	二〇
農協ニュース	電話室	二一



資料提供：花開孚夫氏（つくば市金田）
編集：木村 滋

トマト早出しの体験を語る

大久保四郎三郎
軽部 芳男
大山 武夫
豊島 実

座談會

大久保 今晩はトマトの早熟栽培を目標に、今年の
実験談を忌憚なく発表して貰いたい。では播種期から
豊島 トマトの早出しには苗作りが一番重要で、特
に苗を抑制することがよくない。千葉大などでは二月
の末に播くことをして居るが、栄村では、二月の七日か
ら十日がよいと思う。

大山 今年は二月六日にまいたが、それより早くて
も早く出来るとは思はない。すくすくと苗を伸ばした
争がよかつた。一段花が八分咲で本圃へ出した。

軽部 標準では八十日で開花するとゆうが、私の
経験では八十五日かかると。今年は二月三日にまいて、
開花七分位で出した。

大久保 大山君と同じやうに二月六日にまいた。定
植は五月三、四日だったが、開花歩合は平均二三輪と
ゆうところであつた。灌漑の苗を出すことは落花する

場合が多いので、むしろ逆な結果になり勝ちである。

豊島 播種期をきめる場合、問題は殖土の良否であ
る。殖土が悪いために苗が伸びない事に気がつかない
で早播きの方がよいと思う人があるかも知れないが、
設備管理が好条件であれば二月十日前後でも開花は五
分一六分咲となると思う。今年の経験では、一日まき
七日まき、十二日まきと三通りやつた、十二日まきが
切り出しが一番早かつた。問題は移植の時期の適期を
あやまらないことである。

大山 才一回移植は二月の末、才二回三月末、才三
回は四月二十日にやつた。三回やる計画ではなかつた
が徒長の傾向が見えたので行つたのであるが、三回や
つたため、根張りもよし、花房も大きく発達して却つ
てよかつた。

軽部 昨年は三回やつたが今年は二回にした

豊島 私三回移植の目的で二月一日にまいたのが
結局移植時期をあやまつて失敗したのだったが、要は
二回移植で完全な苗が出来るやうな育苗方法で行く
のがよいと思う

自分は毎年二回移植でやるが、三回やれば

(2)

たしかに大きくて丈夫な苗は出来るが、早出しの絶対
的要素とは限らないと思う。第一、その資材設備が同
題である。次は親床の温度ですね。

豊島 温度は殖土の下部(踏み込み上部)で三十五
度位がよいと思う。

大久保 自分は殖土の中間で二十五度位になつてか
ら蒔くが、踏み上げて直ぐ冷床へまく人もあるね。

軽部 私は適温になつてからまく

大山 恐らく冷床へまいたことはないね。

豊島 床作りと同時にまくことは結果がよくない。

それは床温が最高潮に達した時に発芽する事になる
ので苗が徒長して軟弱になるおそれがあるからだ。

大久保 トマトの種子は催芽して蒔けとゆうのだけ
り、発芽歩合も悪いことになるね。では殖土の問題に
移りましょう。土を混ぜる割合や深さなどをどうぞ。

大山 親床へは田土を四割位混ぜた。割合は量です
軽部 私は畑の土を自分で三割位使つたが、それは
クロールピクリン消毒の際まかせておいた。

豊島 一般的に畑土は茄子科の作物が作られてゐな
いとは言えないから田土の方が望ましい。田土を早く

風化させておいて用いる事だ。量は三割位でよいね。

大久保 私は親床には田土を使つたが、第二回目
田島の畑土を用いた。病害は出なかつたが、田土の方
は理想だね。ところで殖土の厚さですね。

軽部 落ちついた所で二寸五分位だつたかね。

大山 三寸位に入れた。

豊島 親床の厚さは、入れた直後で三寸あればい
いと思うね。

大久保 厚すぎることはまづいと思う。床に熱があ
るようでも土が紫外低温になり勝ちである。次は第一
回移植の時期だね。

大山 第一回目は播種後三十日目の三月八日にやつ
た。それで一枠四〇〇本の割合に入れた。

軽部 私は三十七回目で一枠六〇〇本移植した

豊島 第一回は本葉二葉位の時がよいのであつて、
最大限ガラス障子一枚一五〇本だね。

大久保 軽部君は大分日数をおいたね。一日でも早
い方が苗はたしかに進むね。七日ちがつたら大変だよ

軽部 親床を大きくとつて疎くまいたのだよ

豊島 第一回移植と播種量は、幾分関係あるが、親

床は一條に一〇〇の本位が普通で、種子と種子との間隔は三分が標準だ。

大久保 一般に厚播の傾向がある。それが為標準日数でも伸びすぎた苗を移植する結果になると思う。私は厚く出た時は間引をする。

豊島 移植床の温度について一つ

大山 床温は二五度位、土の厚さは三寸以上で土は四割位ませた。

軽部 温度はやはり二五度位、厚さは、實際は失敗だつたのですが二寸五分位で土は三割位ませた。

大久保 失敗というのとはどんな結果だつたね

軽部 三寸はあると思つて入れたのが薄かつた為乾燥しすぎて苗が固く出来てしまつた

大久保 第一回目でカチカチになると栄養失調に近い形になつて花房の發育も遅れる事になるわけだが、第二回でそれを取り返さず事が至難になるのだね

豊島 第一回に固くなりすぎるとさう問題は、殖土にあると思う。雨ごらしの濡れた土を乾かす事が出来ないので使用したと言う無理があつたのだらう。殖土は何時でも使えるやうに良く管理しておかないと、移植

の適期を逃がすやうな事になるから床土は常に必要なだけ使えるやう準備しておく事が肝要だ

大久保 勿論殖土の不良から苗が育てないとゆう場合も向々あるが、床熱が低下し終うために苗がいじけて所謂線香苗になる事が、早出しに最も影響が大きいと思う。

豊島 その外に床の管理が又大問題だ、第一苗を平らに作る事だ。換気の方法等も一方的でなく、北側と南側を交互に開ける様にすると、晝間と夜間の温度の差を大きくつける管理方法だ。

大久保 ~~晝間夜間の~~の問題がりましたが、實際どの程度に実行しましたね

軽部 ~~晝間夜間の~~注意してやつた心算です

大山 その点は随分苦労してやつた

大久保 晝間夜冷と一概に言つても床温が伴はないと却つて赤茶けた苗が出来て悪い結果になるから、第一回の移植床は親承向候補等に踏むことが先決だね。

豊島 先刻軽部君の乾きすぎたと言つたが、移植床の土は水分が不足しないような堆肥を作る事だ。管理の悪い未熟の堆肥を管理に乾燥して細かくして用いる

—(4)—

人を見受けるが以ての外いけない事である。

大久保 次は第二回移植だね。

大山 三回やる積りで三月廿八日にやつた。田土はませない。草丈は一尺位あつたね

軽部 四月十日から十三日迄にやつた。草丈は七、八寸だつたが一棒三〇〇本入れた

大久保 四月十一日から十三日迄やつたが、草丈は九寸から七寸で、一棒二一六本入れたが、結果から言つて大きい方の苗ほど成績が良かった。殖土は田島の畑土を二割位混ぜて使つた。

豊島 第二回移植も肝心な問題なので、草丈が伸びた伸びないに拘らず、移植は少し早目に始めた方がよい。気温も日増しに上昇する時期だから一寸の手遅れで苗が徒長し勝ちな時である。一棒二百本が限度と思う。それと殖土に草木灰石油粕で半分又は七八分目位混ぜた方が発根がよい。親床も第一回も同様だ。

大久保 第二回移植に肥料を使つた者ありますか

軽部 一棒当り硫酸三〇、奴過石七〇、又加里三〇の又位使用した。

大山 自分は全然使わなかつた。

豊島 育苗中肥料を使う事は弱苗にするもんだ

大久保 私は移植に使つたことは全然ないが、苗が赤くなつて伸びない場合は、定植十日前位に少量の液肥をやる事も悪くないと思うが。

大山 いじけた様な苗には定植同様に良いと思う。

豊島 それは萬止むを得ない場合だね。殖土が不良で四月中旬になつても本葉三四枚とゆうやうな

大久保 定植前の根廻しですが、やりましたか。

大山 三回移植したのでやる必要がなかつた。

豊島 作業の都合でやりたくも出来なかつた。

豊島 根廻しはやつた方がよい。急に長根が発達して来る時期だから縦横交互に行うのが適切だ。それから定植前十日乃至二週同位は天気の良い日は日光の透射をひかる事だね。

軽部 その点だが四五日前まで、ガラスをかけておいた方が花は進むと思うが。

大久保 たしかにその方が雨花は促進する。しかし遷延になつてしおれる場合はいけないと思う。

大山 私は十日位前から晝間は株を、夜間はかけてやるようにした。それから水分を切らすと着果に大い

に影響するね

大久保 そこが肝心な所だ。徒長をおそれて乾かしすぎる事が要物だ。忙しい時期だからと兎角扱けやりにしびちだが最後の管理が早出しの畝れ目だ

豊島 特に注意を要するのは雨に打たせない事だ。

次に定植の問題にゆきましよう

軽部 今年は五月五六日に植えた。早く出したからと言つて進む事は無いと思う

豊島 その通りだ。四月十五日に播種をして植えた事があるが、四月廿六日と五月二日とに植えたものより却つて遅れた経験がある。

大山 今年も私は五月三、四日だった。温度が上らなければ植えても無駄である。

大久保 實際だ。気温は一時的に上つたようでも地温の案外低い年がある。今年など。その良い例だ。定植しても紫色になつて茎葉が一向に伸びないやうでは落花生講合だ。温度の上るまで待てるような苗を作る事が大切なつてくる。次に本圃の整地だが、一般論に見ても、定植前大急ぎで転つて植えるとうり場合が多いが、整地や天肥の点はどうやりましたかね

大山 白紫の跡地のま、一月中に万能で荒起した。

酸度は四だつたので、石灰三十貫を散布した。

春三月になつて、PHが六になつたので八畝歩に石N二十貫をバラまいておいた。その後、完熟堆肥千貫粒を散らして鍛でうなつておいた。

軽部 牛糞の跡地だったので例年よりおくれた。定植前一遍岡、反当堆肥四〇〇貫石N一〇貫をほどこして万能でうなつた。

豊島 トマトは育苗に相当の労力と費用がかかつてゐるのだから、折角の苗の性能を百%に発揮させる事が眼目だ。要するに作物を作るのに肥料にのみ頼る事が間違で、土によつて作らねばならない。

大久保 即ちトマトの早熟栽培は、苗を進ませる事と畑そのものを進ませておく事だ。

豊島 育苗中にも晝温夜冷とゆう事が取り上げられて来たが、本圃もそれが必要なのだ。冬の向荒起しする事も定植の際高畝にする事も共通で、畑の表面積を広くする事によつて、晝間は日光で温まり、夜は冷ゆる割合が多くなるから隨つて肥料の分解が促進されるわけなのだ。

が進む結果となつた。

大山 私は普通植にした。土寄せゆやらなかつた。

大久保 新根を発生させて栄養を向断なく吸収させる事は生理的に大事な事だ。

豊島 それには浅植の原植と言つて、茎の部分からみ次々と新根を発生させる方法がよいのだ。順々に土寄せすること多いし、高畦植付をしない場合でも表面積が増いたことになるので一石二鳥の結果にもなる

大久保 次に植付本数ですが、経済的な早取りを目的とした場合の標準や限度についてどうでしょう。

軽部 今年は二尺五寸に一尺三寸五分、反当三千三百本に植えた。第一段からの数量は多かつたが、少し肥料が伴はなかつた為には収量は予期した程でなかつた。竹級が多かつたから、慾には二尺七寸位に畦巾を取つた方がよかつたかとも思つた。

大山 反当り二千五百本を標準としてやつた。新畝は畦巾三尺株向一尺六寸でよかつたが市原種の方は、ゆつと密植してもよかつたと思つた。

大久保 私の場合には五尺へ一棚株向は一尺四寸反当三千本の割合に植えた。早取りはやはり数が多い方が

大久保肥料と果熟の関係が又考えられるね

大山 早熟には肥料を早く使用して、窒素の追肥は成る可くさけた方がよいと思う。

軽部 同感だ。肥料を進ませる事より、土を肥やし進ませる事だ。

豊島 それは勿論だが、燐酸分の働きによつてすべての肥料成分を兼や茎に有効に移行させるために、過石の施用を頭に置く事だ。一方的ではいけない。

大久保 その点から云つて硫酸や尿素を主として使うより、石Nを主体にしてやる事が実際試して見て効果的である。苗の時はかりでなく、本圃へ出てからの徒長は直接熟期に關係する。燐酸分は元肥主義で簡単だが、加里の問題がむずかしいよ

豊島 加里は最初から使う事が望ましい。全量一度にやる事は却つて悪いから順次割合を増すやうに分施する事がよい。石N主体の場合はそれによるチヤナリストの害によつて、バクテリアの繁殖が妨げられるから常に堆肥を多く使つて微生物の増殖を考へる事だ。

大久保 次に植え方はどのやうにしましたか

軽部 舟底植にしたが根のほる部分が多いため発育

目的に一致するわけだ。勿し四段目五段目で播種の方法をとつたのだ。それで全量では反当二千貫近く收穫したから八月出荷を望まなければ、密植で差支えない。豊島 私は柵間三尺通路二尺二寸、株間一尺五寸で反当二千八百本を實行してゐる。普通の品種にも通用する標準とゆう所だらう。

大久保 今年依然問題になつた落花生防止の二四口撒布について、軽部君忌憚ない所を発表して貰いたい。

軽部 最初五万倍で用いたが四日後には、花房全体がしつかりして来て着花の効果が現れられた。

大山 私はオ一段にはかけないで二段三段に二回撒布したが、発育も早く、成熟も進んだ様な気がした。

大久保 炭は俵にやうしたので、あとから考へると濃度がうす過ぎた為か、効果は微々たる程度だつた。

近所の人だが相当濃く使つた為、極端に形状が變つてしまつたね。ヒヨットコの様にね、一休限度ほどの位かね。

軽部 農大の方では五万倍と言つて、十万倍でも効果は同じようになつたね。

大久保 二四口を食つたトトトは、一見して光澤が女

性的で、果皮もうすく、貝も柔らかいような気がして、それが結局荷傷みの原因になりはしないかと思つたね。それに就て、県改良課の大野博士の研究の結果を一月号に発表しますから参考にしてみらう。

豊島 私は二四口に就ては實際試験してないから意見は申上げられないが、千葉大の藤井先生から、其の後の研究の結果を報告して呉れる事になつてゐるからそれを待てば来年の採用本針も樹つと思ふ。

大久保 最後に品種ですが、今年の結果から市原早生が大体良いと言ふ傾向になつて来たかどうですか。

軽部 市原と在米系統のものを作つたが、苗は市原の方が遅れたが採收は少し早かつた。市原は小粒だが、在米の方が形状がよく揃つたね。

大山 市原と新星をやつたが切り出しは少し早かつたが結局目方では、新星の方が多くとれた。

大久保 たしかに市原は、苗の進度は他の中生種より遅れる傾向がある。本園へ出ても草の伸びが圓い。結局多肥性の品種であつて、極品種より肥培の点を増

率しなれば実が不揃で小粒になるかのやうに思う。

豊島 早熟を目的とすれば收量が劣り、收量を狙え

は晩熟になる。現在早取りものとしては、市原早生と千葉大の豊モメ成功の一代雜種あたりが適当かと考へられる。

大久保 實際品種の問題はむづかしいが、昨年今年の市況から見ても、八月出荷を目的とする晩出し栽培も大いに取り上げて研究する必要があるはしまいか。

豊島 その点は米村として今後の課題として重要と思ふ。それには市原種が有望品種ではないか。来年は是非取り入れて見たい。

大久保 それにしては、早取りしたその圃場でそのまま、晩取りの操作をするか、又別に晩取りは幾分抑制栽培で作付するかが問題と思ふが、この種の研究は後日の宿題ですな。

豊島 とまかく来年度市原種の試作を本格的にやつて見る事にしよう。

大久保 今晚は實際に早出しで成功した人達の実験談を其の儘発表して頂いたので、参考になる点が大いにあつた。運然の成功を望むのではなくて、本質的に基礎から研究努力する事によつて、来るべきトマト作りの萬全を期したいと思ふ。

婦人会十一月便り

十一月十八日 郡連絡会へ出席のため会長副会長、鶴々の三名が石岡へ出張しました。

十一月十九日 土浦一高で行はれた農協五週年大会へ会長以下幹部十七名参加しました。

十一月二十二日 夜、米村米亡人会の結成式に当り、村有志と共に、わが婦人会の役員も列席しました。

村長さんの御挨拶に初まり、岡田議長さんや、村内有志の方々のお祝のお言葉があり、後、大塚民生課長さんの講話があり、会則や会長、副会長幹事などを決め、名も白菊会として力強く発足いたしました。婦人会としては、会長さんが会員を代表して御祝の言葉を述べ、同じ婦人同志の団体でありますから今後共お互に一致協力して進む様、胸中ひそかに誓ひ合つて式は終了しました。式後婦人有志による米音頭映画等レクリエーションが行はれ盛余でした。

十一月廿八・廿九日 新治郡婦人会指導者講習会へ、会長副会長出席しました。郡内よりの参加者は五十一名で講師は、県より壬手先生や郡の手賀橋本両先生



小学校便り

一 冬休みを迎えるに当つて
 愈々冬の休みが近づいて参りました。今学期は、運動会、遠足、研究会と実に目まぐるしい毎日を過ごして来た御子様方にとつて、とりわけこの冬休みは心またれるものがあると思ひます。御家庭の暖い環境の中で時間や学習のわくから解放され、のびのびと休みを楽しまれる御子様たらば、どんなに嬉しいかわかりません然し急に自由な生活になりますので、どもすると、しまりのない生活になり勝ちです。その負よるしく御指導方お願い致します。尚学校からは、冬休みの友、反省表、心得等をお渡しいたしますし、各子と申会でもそれぞれ申合せや行事等が計画されますから一応それ等にも目を通して、有意義な休みに終る御力を添え下さる様お願い致します。

二 実験学校研究発表会

当校は昨年六月、県教育委員会より実験学校の委嘱を受け、特に学校図書館の経営について研究実践して

参りましたが、去月廿五日研究発表会を開催、これま

での研究の結果並に本校教育全般に亘り公開しましたところ、朝来の悪天候にも拘らず、郡内や郡外各校より二百名にも及ぶ多数の参会者を得て、極めて盛會趣に終了出来ました事は誠に喜びに堪えません。これも偏に村当局並に村民各位PTAの皆さまの大きな御支援によるものと衷心より感謝している次第です。

当日は午前中、全教科にわたる学習指導と教科外活動とその自治会等を公開し、午後は公民館で研究発表会を致したのですが、殊に幻燈スライドによる「私達の児童会」「私達の学校図書館」の発表上映は、テーフレコーダーによる児童会役員の発表であつた為、非常な反響と感銘をあたえた様でした。尚早朝からの村有志、PTA会員役員方の御協力振りは、本校の教育が如何に村民の深い理解と協力の上に営まれて

いるかを如実に発表したもので、学校としてこんな嬉しい事はありません。私共はこれまでの研究を土台とし更に一校の飛躍をいたすべく研さんを重ね、村民各位の御期待に添う覚悟で御座りますが今後一層の御協力と御支援をお願い致します。

三、西部班學生会入選者

十一月二十七日、斗利出小学校で開催、本校から四年以上各組五名参加、次の諸君が入選し、左記一年より三年生までの各校選出作品と共に、各校巡回展に出品されて居ります。

- 四年一組、飯泉不沙子 中村伸 四年二組岩瀬幸江 平島健司 五年一組柴田晴美 上方修造 五年二組岩瀬栄、沼尻勝江 六年一組久保田てる久松由起子 一年酒井はつえ 松岡和枝 二年小池和子 鷹原誠 三年一組久松早苗 塚本時子 三年二組沼尻弘子 露久保洋子

四、西部班書画会入賞者

十二月四日於藤沢小

- 一年銀賞沼尻昭彦 二年銀賞本橋良子 三年一組金賞大津和子 銀賞根本洋一 四年一組銀賞平島藤子 五年一組銀賞酒井ふじ子 六年二組五頭絹子

五、西部班珠算競技会入賞者

十二月十日於藤沢小

- 五年一組三等平島秀夫 酒井ふじ子 五年二組一等岩瀬栄 本橋美智子 二等本橋つね 六年一組二等諸井尚子 三等酒井洋次 六年二組一等五頭絹子 三等酒井千代

中学校便り

野口先生転任

十二月一日附で栄村教育委員会発足以来の第一回の人事異動で野口省三先生が斗利出中学校に榮転されました。先生には四年ハヶ月間、中学校発足当時より実験学校としての三年の努力には洵に頭のさがるものがあります。責任感の旺盛なことは、若い人には珍らしく、責任を果すため幾度びか徹夜なされて、職務を遂行されたことなど私共同僚のみが知るところであります。又私財を投じて、運動の振興に、クラブ活動に努力されて、若い情熱を惜しみなく教育に注がれた事には改めて感謝したいと思ひます。先生の去つた後職員室には一つの大きな穴があいた感じが、社会教育方面での活動は、村民の皆さんの御承知の通り、夜分遅くまで「さかえ」の発行に、子供会の指導に、又特技の字真を各方面に奉仕された事等先生の足跡は洵に大きい。送別式に眠んで生徒達の涕泣して別れを惜まれた事にもその人柄が偲びれます。先生が益々教師

として、人間として研鑽されて立派な教育家として
 発展されますこととお祈りしてやみません。

冬休み

冬休みも二十五日より入りますので、只今休暇前、
 休暇中、休暇後の指導を立案し有効な冬休みにするた
 めに努力しています。学習に、運動に、子供会に、自
 主的な方向に指導しています。各科の問題、作品の製
 作等生徒は課題を持つて冬休みに入るわけですから、
 よく生徒とお話し合い下さい。生徒の生活に、計画性
 と自主性を根本にして、生活するやう御指導を願ひ
 ます。職員も予定には、家庭訪問も部落訪問も組んで
 あるのですが、認定講習に全職員出席するので予定通
 りの訪問が出来兼ねるかも知れません。学期末テスト
 も去る十六日で終了しました。一般によく勉強し、努力
 する様になりました。男子が前学期より伸びて来た様
 に思います。生徒の成績については、よく受持の先生
 と懇談して下さる様お願い致します。

寄贈 圖書

茨城新聞社土浦支局長市村杜雄一先生から
 先生の著書「中井浩の横顔」「度胸代男藤川輪
 吉」各一部宛公民館図書館へ御寄贈になりました。

厚生だより

- ◆ 栄村青年会長沼野保之助君始めの会員一同は、共同
 募金の不足分一六八〇円也を寄附し目標額四二八〇円
 也の完了に御協力下さいました。
- ◆ 遺族年金予慮金を交付されたものは、請求者九九
 名に對し既に二十名に達した。旧正月までには可成り
 交付の見込みである。
- ◆ 戦傷病の茨城県連合会が結成され、新治郡でも出
 来たので本村でも近く支部を作る予定であります。
- ◆ 六十才以上の老齡軍人に対し七千円也の見舞金が
 交付されるので、本村でも数名の申請があつた。
- ◆ 靖国神社大祭に榮中の三年生室町忠良君上方てる
 子さんが本村代表で参拜したが、近く感想文が県で集
 録される由である。
- ◆ 本村で交付される要保護費は月間一六、〇〇〇円程度
 で、現在要保護者は一〇名である。
- ◆ 遺族予慮記念品（線香と香炉）に添えて県民代表
 友永知事の慰問状が遺族九七名に伝達された。

では義肢義足等の修理もしてくれる。

水戸桜山神社大祭には村長代理遺族十二名が雨中
 に拘らず参拜された。

母子世帯調査が施行され飯島敏子さん外三名が調
 査の対照とされた。

本村のお年玉つき年賀ハガキの売出しは二万五千
 で結局二万五千円が共同募金へ寄附された訳です。
 西部七ヶ村遺族連合会が結成される機運があり
 栄村でも寺田会長が奔走している。

新入館図書のお知らせ

書名	著者名	書名	著者名
真空地帯	野間 宏	明日では選すぎる大谷 義	
中井川浩の横顔	市村杜雄一	総點落第記	鈴木栄二
女といふ城	小島政二郎	天馬往来	村上三三
女王蜂	横溝正史	歌 麿	邦枝完二
千羽鶴山の音	川端康成	河内山宗俊	子母沢寛
青春は美し	高橋健二	武蔵野夫人野火	大岡昇平
人生劇場	尾崎士郎	原爆の子	長田 新



パン食心得

パンの見分け方

「外から見た感じ」

イ形—各々のパンの形に應じ勢よく育つた「かた
 ち」が現はれているものがよい。

ロ形—表面が全部一様に「こがね色」に焦けてい
 て、皮の厚さが何処も均一であるものがよい。

ハ重さ—よくふくれて手に持つて軽い感じのする
 ものがよい。(フカフカに麩の様にふくれてるもの
 のはよくない)

「内部の状態」

イ色—白よりもクリーム色で「つや」のあるの

「パンのこころ」

「パンのこころ」

「パンのこころ」

永遠に我愛す	田村泰次郎	クリームの遊び方	名取俊一郎
お部屋様お運屈	野村胡堂	トランプの遊び方	井出渡男
君らこそ日本を	篠原正瑛	餅生きている日本史	高木健夫
宮本武蔵十巻	吉川英治	梨栽培法	田野寛一
		日本料理独習法	小林 完

がよい。(色にむらのあるのはよくない)
 ロ、きめ——卵形の薄い膜の細かい気泡が切口全面に均等に現われているのがよい。(よく出来たパンは引きさいた面が縦に薄くはがれる)
 ハ、手ざわり——指先で圧して柔かき弾力があり、なめらかな感じのするものがよい(ムラはよくない)
 (三)食べた感じ

イ、舌ざわり——パン気胞の薄い膜が舌にやわらかにとけるような感じのするものがよい(ゴソゴソするものや粘りつく感じのものはよくない)
 ロ、香味——小麦粉がイーストの醗酵をうけて出す特有の良い香と味をもつたものがよい(塩のキキたらぬもの、甘味にすぎたもの、酸味のあるもの、イーストやカビ又はすえた臭のするものはよくない)

パンの食べ方

イ、焼上後六時間位から食べ始めるのがよく一晝夜位まで変化なく食べられるのが普通のパンである(パンはかまから出た直後はまだパンとして完全でない。冬なら二時間、夏なら六時間位たつて初めて中心部の水蒸気が落ち着いて本当のパンになる)

ロ、焼き立てのホヤホヤのうち食べるのは味と消化の両面からみて正しい食べ方ではない。
 ハ、古くなつたパンは一度火にかけると元の新しいパンに戻るから温いうちに食べると味も消化もよい。
 ニ、コソペパンはそのまゝ、ち切つて食べ、食パンは薄く切つてトースト、サンドイッチ等にして食べる。
 ホ、パンはおいしくかみこなす事が大切である。噛み方が中途半端だつたりお茶などで湿り気をつけたりしては本当の味はわからない。
 ヘ、塩味も充分に利いていると唾液が出ておいしく感じられる。パンそのものに塩味をきかせ、スーパ等の塩味をうすくするものがパン食の建前である(御飯と味噌汁の日本食とは全く反対である)。

パンの取り扱い方

ア、パンは乾いた布に包むか、籠に入れて風通しのよい処に置くのがよい
 イ、パンを密閉した箱などに入れておくと早く腐る。
 ウ、パンを入梅期から夏にかけて特に注意し、蒸引ロープにかかり、悪臭を発生してパンの品質をこわすので衛生的取扱が肝要である。



農協ニュース

一、白菜献上

毎年の行事として天皇陛下に白菜を献上してありますが、本年の十二月二十五日に献上する予定です。各生産組合より優秀なもの一株を御送出願つて精進し、二巻を作成して生産者代表が献上に参ります

二、出資増口第一次達成に就て

出資金の増額については、かねて皆様の御協力を得て達成しつゝありますが、今回上境、大下の二部落が率先第一年度(二十七年度分)の完遂をいたしました。こゝに改めて厚く御礼申し上げます。

尚他の部落も逐次増成に協力されつゝありますので年度末迄には目標の完済出来ることを、確信しております。何卒皆様の御協力を切に御願いたします。

三、供米供進について

生産農家皆様の御協力により十二月十五日現在で農協分五一四二俵に達し昨年同期に比して約三倍の成績を収めておりますが、二十日完済目標日迄には是非完

納したいと思っておりますので精々御盡力下さいますやう御願致します。

四、白菜出荷について

本年の白菜については、生産過剰による市価の低落によつて誠に不利な状況であります。最近霜々値を持ち直しましたので、霜害等による損傷を防ぎ本月中旬に出荷せられるやう御勧め致します。

五、第七回茨城みのり定期貯金募集

毎年度御引立を蒙つて居りますみのり定期貯金も回を重ねること七回に及びました。募集の都度皆様の御熱心な御後援、御協力により益々営農資金の確保が出来農家の経営が健全に行はれますことは誠に喜ばしい事です。今回県下農協として十億円を募集することとなり、本組合としても之に協力して行きたいと存じますので多少にか、わら下御協力下さる様切にお願い致します。

割増金については

- | | | | |
|------|------|----|-----|
| みのり賞 | 二十万円 | 特賞 | 二万円 |
| 一等 | 三十万円 | 二等 | 五百円 |
| 三等 | 二百円 | 四等 | 百円 |

一口の金額 金一十円 期限 一ヶ年

取り扱期間、自昭和二十七年十一月十日 至同二十

八年一月十五日

本村目標額 八百万円

部落座談会を終りて

村長

十二月七日から十五日まで九日間、每晚一部落毎に行いました。座談会も各位の御協力によつて遅滞なく終了いたしました事を心から御礼申し上げます。前村長から引継がれました中学校問題も、種々の行違ひから複雑な事情が重なりまして中々はかどりませんでした。この度の座談によつて再出発の聲が聞かれました事を喜びしく存じます。直接お聞きしました皆様の御意見や御協力のお言葉を聞く信じまして十二月十八日急遽村議会を開き御諒解を得た原案に基き組織をなす行つた中学校建設予算を満場一致で可決して頂きました。これと趣々実行への第一歩を踏み出した訳です。今後の御協力を是非共御願申上げます。

青年学級開講さる

去る十六日青年学級第二年目が発足致しました。受講生徒一三〇名の盛況である。職業的に結びつけて、年次の発展性を持つた教育課程も、教育委員会よりの学級規則を発表になり、昨年より形式内容共に充実致しました。講師は小中学校取組員が主任講師となり、学習の内容の発展に従つて村内の学識経験者にお願ひ、更に特別に魅力ある講師をお迎えする考えです。学習は講師の講義式を避けて、各科共生徒の持つ課題を中心に展開させる。興味関心の深いものから次第に高次なものへ発展させたい。学級の運営も自主的に生徒が運営して、生徒の教養の近代化を意図しております。昨年度は季節制でありましたが、本年度は年間を通じて開講し、学級で学んだこと、問題となつたことは家庭において経験により、読書により研究した結果を開講日にお互に持ちより発表し合つて、よりよい結論を導き出すように、年間常に青年学級の生徒とであるとの誇りと情熱を持つて、研鑽して切く態度を持たせたい。村民各位の御後援をお願ひ致します。

未亡人の集い

白菊会 生る

今回私ども米村未亡人の団体である白菊会の結成式に際し、村長さん始め村内各方面の、わけても米村婦人会皆様の一方ならぬ御協力を頂き、かつ夜中、悪路のところ多数のみな様の御参列を得、ことに婦人会員有志の首領舞踊は、素朴清楚の風情は一程と演虫の美を添え、しみじみと心を樂しませてくれるものがあり有難う存じました。これから私も一生懸命にやりますから何卒よろしくお願ひ申上げます。茲に結成の御挨拶がたがた何から何まで厚く御礼申上げる次第であります

役員名 簿

- 会長 中村千枝
副会長 大久保キクノ 久保田喜久乃
幹事 飯泉つる 中村千枝 松本富子 石渡こう
比岡とく 久保田せい 久保田喜久乃 飯島和子
大久保キリノ 飯島敏子 増山さと 根本まつ
上方かつ 上方ちか 根本ユキ 酒井じん

部落別会員数

- 上境 五名 中根 十名 土器屋八名 松塚五名
大下名 横町五名 金田六名 古来六名
吉瀬九名 会員総数 六十名

結成式余興の記

十一月二十五日夜七時から、公民館二階大広間にて結成式を挙げ、比岡とくさんが司会者となつて、中村千枝さんを議長に選出し、まず会名の審議に入り、みとり会、ささなみ会など出たが結局、白菊会と決まり会則は原案通り決定し、役員は別記の通り選出された。次いで祝辞に移り、岡田議長、久松民生委員長、酒井婦人会長から懇切な激励と、大塚民生課長の講演があつて、式を終了した。余興は大ホールで、映画の後、に婦人会有志によつて、音頭や舞踊があり盛会であつた。当日は米栖喜一郎、酒井寛而氏が映画技師となり又渡辺よし江さんが唄の伴奏をしてくれ、婦人会の役員多数は接待その他に応援された。

白菊の花咲く野辺に涯しなき

ぬかるみの道光りへの道

村民の声

栄音頭について

平島 照雄

近來本村婦人の間に栄音頭の踊りが普及して来たことは誠に喜ばしい次第であり、出来得れば全村民が一通りは覚えて、それそれの機会に気軽に踊れる様にしたいものと思ふ。

しかし栄音頭はあく迄健全な娯樂であつて、その健全性をむしろむ一切の行爲、方法、考え方は断乎として排しなければならぬと私は考へる。

栄音頭を踊るからには、踊るにふさわしい心構えを以てその方法、言行を律すべきであつて踊りの指導と共に大切なのは精神的指導である事を痛感する。

約二十年前本誌の編集長大久保氏は、青年会時代に郷土芸術(盆踊り等)純化運動を提唱し、会員と共に野卑低級な踊りを純化する爲に努力した。当時芽生した健全な娯樂希望の花は咲いて今栄音頭が生まれ出たに拘らず、将来再びこれの純化運動を起さなければならぬ様な事態を招来してよいであらうか。これが健全な実を結ぶか否かは実に今後の重大な課題である。

元來栄音頭は見て楽しむといふより、踊りの上手、下手や容姿服装の如何等にか、はらず清潔な気持で老若男女の別なく、誰もが踊つて楽しむ性質のものであると私は解してゐる。この見解に立つ時、自ら超えてはならない限界が判明して来るのである。見て楽しむのが本来であるならば、踊りの巧拙や容姿服装の良否等はさほ向題にはならなくなり、老若男女誰れが踊るものであるならば、子供が踊つて困る様な踊りは少しでも入れてはならないのであつて、時間も深夜に及ぶが如きは嚴に戒めねばならないわけが明白になつて来るのである。

り子供は居ないから等とて限界を超えるのは、正しく健全な娯樂への冒険であつて、その結果は必ず何れかの面に弊害を生ずるに居ないであらう。人或は言うかも知れない「そんなに難しいならやれないではないか」と、しかし私は思ふ、「守るべき限界を守つてこそ始めて誰にも気兼ねせず自由に明るく楽しむことが出来るのではないか」と、私が一村民として敢て意見を發表したのは、愛する栄音頭の純潔と健全な普及を思ふの母心そののみである。村当局の御批判を乞ふと共に積極的な御指導を期待します。



土地改良だより

本県が五ヶ年計画を以て施工する霞浦湖北土地改良事業は土浦市外十五ヶ町村の足並が揃つたので愈々明年から五億六千万円の予算で着工する事となつた。県管事業としては全国第二位の大工事で水路工事費には四割、機械設備には五割の補助をうけその他は関係の一市十五ヶ町村を負担することになつた。この用排水工事が完成すれば、水稻一万四千六百四十四斗、陸稲七千九百八十二石三斗八升、二毛作による大麥千九百八十六石二斗七升、小麥千五百五十五石六斗五升、其の他菜種、大豆等の雜穀類を合せると莫大な増産となる勘定であつてこの事業に関係ある農家は五千六百五十二戸まさに農村の一大福音と言ひ得るであらう。

湖北土地改良事務所は本工事の設計と青写真の作製に大重となつてゐるが、用水工事としては先ず上高津八坂神社の下(小野川用水の上)に口径八〇〇ミリハ百馬力の揚水機四台を挿付け一秒間に五トン(約二八石)の揚水をなし下廣岡までヒラム管で運び更に延長

十二キロの排水管を敷設して下廣岡の分水点より藤城村川間に導きこ、二段揚水(口径七〇〇ミリ九十五馬力二台使用)を行つて大穂村一ノ矢と畑村とへ水路を延長して送水する。本村へは吉瀬の佐原地へ上の池(と金田西坪の新池の二ヶ所へ導入しこれより各大字へ送水する計画になつて居る。本村内の本工事関係区域は公民館側の道路(県道荒川沖、藤沢駅線)以東県道吉沼、土浦線以南で外に大字大中山、宮の下を含む地域が予定されて居る。また排水工事は桜川中流(栄利橋の線)から霞ヶ浦に入るまでの滞水と降雨期の洪水を排除するため大岩田地内(霞浦湖畔、姥川川口)に口径八〇〇ミリ九十馬力三台のポンプを設備するものである。本工事が完成すれば牛久沼上流及其の附近

檜川流域等十六ヶ市町村(土浦、九重、栄、栗原、大穂、旭、葛城、眞壁、谷田部、小野川、板橋、久賀、笠崎、牛久、朝日、岡田)の水田二千六百六十七町

畑地千五百六十四町を潤すこととなるのである。

報社 本村の位置、土番屋火の鬼橋の中心(国土調査
弘社 図根点)で北緯三六度六分九秒四〇九東経一四〇度八分四五秒七五六高さ九米一三である。



貯金局長表彰を受けて
古米青年会の
貯金厂史を省る

古米支部長 諸井伸好

私の支部の貯金は、大正三年四月より大正天皇御即位記念事業として、當時の古米青年会長久松信一氏の提唱によつて始められ、爾來皇曆三十九年の長き歲月を経過せられた。當時の経済状態は、現在と比較して貨幣価値が高く、五〇円と言ふ金額は大金の部に属する時代であつたので、毎月の貯金額を十元以上とし、青年会員は満十五才より満三十才迄が対象であつたので、青年会に十五ヶ年間籍を置き、其の向毎月の貯金額に多少の変化はあるが、基本金額は嚴守され退会迄は据置貯金なので、退会する時は大底五〇円位の元利合計を拂戻しを受けて退会する。其の時期は各人一家の家計を司る時期であるので、大変役立てられた。

最初の貯蓄先は當時の米村産業協同組合であつたので年末の利子計算は会員全部で行い、利子計算の素養と珠算の修養にもなり、貯蓄心の涵養と、珠算の常識

的養成ともなり、一石二鳥のねらいがあつた。其の後預け入れ先を總會の決議により郵便局に変え、郵便貯金として現在に至つた。當時の青年会員数は十三名の少数であつたが、十三名の参加者を得、其の後年々毎に入会者が増加し、会員は何人も貯金部の内規を守り貯金の義務を有すること貯金の行事は会の一部門とした。創始以來貯金部に加盟したる者延二二五名の多きに達し、現在は普通貯金と旅行貯金の二部制とし、普通貯金は旅行計画の樹立と共に適当に拂戻しをする事になつてゐる。集金は毎月二回とし、一人當り金十円以上となし一日十五日に集金する。一回の集金額が最も多かつた時は、昭和二十六年七月十五日の二八五〇円であつた。現在個人的の最高貯金高は一〇〇五〇円、次は六三〇〇円、全体の貯金高は三五九五〇円の帳尻です。今回表彰を記念して一人當りの、基準額を一回二〇円以上に増額した。

三十九ヶ年の傳統を有する吾が貯金部も、戦時中は、漸次会員が減少し、青年会員五名と言ふさびしさであつたが、終戦と共に漸次会員も増加し、傳統を誇る、貯金部の陣容も整い、貯蓄熱も高り、終戦日を記念し

て昭和二十一年八月十五日貯蓄の重要性を、再認識し此の事業の発展に邁進する事を決議し現在に至つた。

去る十二月九日東京郵政局内に於ける優秀郵便貯金団体表彰式に参列の光栄を克得した。因に本表彰は三段階に区分せられ、(一)郵政大臣賞、(二)貯金局長賞、(三)郵政局長賞となつて居り、當青年会は貯金局長賞に授けられ茨城県十一団体の総代として表彰状及賞品を授けられた。當日は米郵便局長久松盛男氏に伴れ、会長の私と副会長豊島清栄氏の三人が参列した。

現在當青年会の貯金部が会員も少なく貯金高も僅かではあるが古い厂史と傳統とを有するので表彰の末席を汚す事を得ましたのは、先輩各位が大膽な計画を樹てられ、其れを継続し下された事に感謝致して居ります。青年による貯蓄団体の優秀なるものが関東一円山梨を加へて、貧弱な吾が青年会が一つであつた事は意外な感に打たれた。他の表彰団体は工場関係、学校婦人会、幸ム所関係等が多く、各種別の受賞者代表は各県併せて、二十二代表が参列し、郵政大臣の式辞其の他関係者の祝辞があり午後四時式を閉じた。



お芽出度う七五三

公民館子供部

十二月廿一日今年度の七五三のお祝を公民館大ホールにて行います。該当の子供達は、男子が二十七名、女子が四十一名合せて六十八名であります。今年には皆様の御理解により、服装は全部統一されました。皆学童服に黒木綿の靴下に運動靴であります。男子服は米村農業協同組合に女子服は、米村商工会にお願ひして全部揃へて頂きました。一定した服装で可愛らしき未來の社会の重要人物の卵が一堂に会し、人生最初の御祝を催す事は最も意義ある事と存じます。当日は午前九時三十分に一四公民館に集ります。式は午前十時開會宮本宮司の修被により神式の祝典が営まれます。館長の式辞、経過報告、米賓の祝辞、館長より祝子達に千歳飴の記念贈呈を成し、祝子の父兄代表の挨拶、祝子達の記念撮影を致します。祝子達の前途を祝する小中学校生徒のレクリエーションが展開され和氣鬱々中に式を閉じます健全な生涯改善の一端であります此の祝奠に御賛同下されまして多数の方の御参列を願ひます。

電話室

村から家庭へ

- ◆十一月十一日、午後七時より公民館に農業委員、生産組合長会を招き、本年度供米割当の基本方針を決定した。
- ◆十一月十六日、午後七時より公民館に農業委員会を招き、供米割当量を決定した。
- ◆十一月廿二日、午後七時より茶村米亡人会の終会式を公民館に挙行、会の名稱を「白菊会」と名づけ、会長には中村千枝先生が就任した。
- ◆十一月廿三日、新制中学校建築予算に關し役場に村議、教委の合同会議開催
- ◆十一月廿六日、廿七日、狂犬病予防注射を行う。
- ◆担当医師 沼尻三智彦氏外役場吏員二名
- ◆十一月廿七日、午後一時より公民館に教育委員会開催
- ◆十二月一日、午後七時より公民館に白菊会役員開催
- ◆十二月二日、午後七時より役場に村議協議会開催

公民館において朝日新聞社の昼夜二回に亘り映画の無料公開があった。

- ◆十二月四日、午後七時より公民館において中学校新築の件につき村議、教委、PTA役員等の合同協議会開催
- ◆十二月六日、午後七時より公民館において中学校新築の件につき村議、教育、常設委、PTA会長等の合同会議開催、翌七日より毎夜各部室に村長、教委、村議等出張し吉瀬より順次座談会開催の計画を定め計画通り実行された。日程は、七日吉瀬、八日古米、九日金田、十日横町、十一日大、十二日松塚、十三日土器屋、十四日中根、十五日土境であった。
- ◆十二月八日、午後一時より役場に民生委員会開催
- ◆十二月九日、午前九時より公民館に於て計畫器定期検査施行
- ◆十二月十四日、午後一時より公民館において白菊会第一回總會開催
- ◆本日大字大上坪供米完了、本村の一番乗りをやつた。
- ◆十二月十五日、大字土器屋本日供米完了、これが本村の二番乗り、次ぎは果していつこ。

未村した視察団

- ◆十一月十六日多賀郡多賀町より農業改良普及員岡見雄氏引率の下に農事研究会員四六名、白菜栽培実況及び出荷状況視察
- ◆十一月二十日結城郡下各町村公民館指導者三十六名教育庁、結城出張所主事横島廣一氏引率の下に、村政及び公民館事業運営等視察
- ◆十一月二十一日千葉県香取郡古城村婦人会員二百名新生活の実態視察
- ◆十一月二十八日、北海道北見國常呂郡佐呂間村より村議会議員田田孝造氏、中学校教諭長屋美夫氏外、青年四名、村政、概視察
- ◆十二月三日、県農林部農協課の農協学院生徒百三十名渡辺主事に引率せられ農協の実態、公民館運営方針等視察
- ◆十二月五日水戸市立線國小学校長松山裕二郎氏外PTA会員約五十名教育状況其の他視察
- ◆十二月六日那珂郡静村助役寺門好彦氏外十六名村政一般視察、東茨城郡川根村農事研究会員二十名、白菜栽培実態及出荷状況視察
- ◆十二月九日、真壁郡雨引村婦人会員二十七名生活改善実況視察
- ◆十二月十三日真壁郡大國村PTA会員六十名PTA活動状況視察のため何れも来村。

編輯室便り

師老といふ荒寒たる自然現象とは反対に村の十二月は実にたくましい活動の月であつた。白菜の出荷や米の供出を始め、仕事の総決算期でもあり、又一方疲れた心を御破算して、来年の新しい活動に備えるモーションの月でもある。良かれ悪しかれ、一ヶ年間の村の動きをかへりみる時、教々の足跡は皆、一人一人の努力で生れる。村の歴史の一頁を綴つてゆく一つの文字である。私達は昭和廿七年度に於ける各自の仕事、決して無駄でなかつた事を確信して新しい年を迎えよう。

「さかえ」第三卷第二十七号

昭和二十五年十一月三日 創刊
昭和二十七年十二月廿日 発行

編輯人 茶村公民館公認委員会
印刷人 土浦市西城町九一九 かすみ印刷室
発行人 茨城県新治郡茶村横町二六三、一 茶村公民館
電話(茶)三三番